

## 女性医師の活躍

## 多様性を認め、ファミリーのように相談し合える環境

小児科 准教授 江口真理子  
 助教 森谷京子  
 助教 相原香織

現在、小児科には大学院生2人を含む女性医師が7人います。既婚者や子供がいる人もいますが、みな産休や育休後は現場に復帰しています。当科は性別や年齢での垣根がなく、大きな家族のような雰囲気があります。教授が個人的な相談もしやすい人柄で、産後復帰するプランも具体的に話ができます。また各スタッフの事情にあわせて仕事を割り振る配慮もしていただけます。

当院には、2007年に院内保育所「あいあいキッズ」が開所しました。また当科の女性医師が病院長に学童保育の実施を相談したところ、これも実現。病児保育や夜間保育もあり、当院は女性医師の声が積極的に反映されていると感じています。

小児科では、男性・女性問わず子どもに関する急な用事でもスタッフ間で互いにフォローしつつ、それぞれの専門分野を突きつめて診療・研究することができます。小児科での仕事が自分の子育てに活かせることもあれば、逆に自分自身の子育てが仕事にも役立つ職場だと思っています。



## PROFILE

写真左／もりたにきょうこ◎愛媛大学医学部卒業後、県立中央病院、県立新居浜病院等を経て2012年より愛媛大学勤務。趣味は子供とレゴを作ること。

写真中央／えぐちまりこ◎広島大学医学部卒業後、同大学、国立小児病院（現：国立成育医療研究センター）、英国がん研究所、獨協医科大学を経て2008年より愛媛大学勤務。なかなか日本一になれない広島カーブのファン。写真右／あいばらかおり◎愛媛大学医学部卒業後、県立中央病院で初期研修後、県内の地域中核病院を経て、2015年より愛媛大学勤務、大学院入学。2016年度に東京女子医科大学に国内留学。趣味は史跡巡り。